



ご挨拶

初めまして。このたび前任の川岸部長に代わりまして1月にやってきました石東（いしづか）嘉和です。よろしくお申し込み申し上げます。前任地は平成17年に新規にできた横浜市立みなと赤十字病院という634床の急性期病院でした。精神科の病棟もあり精神科も急性期の対応をしていました。そのため、急性期の統合失調症やうつ病・躁うつ病の激しい病状の方が多かったです。病院は横浜市中区にあり近くには元町や中華街あるいは関内の繁華街等があり、仕事は忙しかったのですが仕事が終わった後は横浜での生活を楽しんでいました。

このたび歴史ある同愛記念病院に赴任してまいりまして身の引き締まる思いをしております。患者さんも経過の長い方が多く、今までの経緯を振り返るだけでも結構時間がかかってしまいます。

さて、同愛記念病院精神科の現状ですが、午前中は再来患者さんの診察、午後は身体病気の入院している患者さんと新患者さんの診察を行っております。新患者さんは精神科の特徴から一人の診察に時間がかかるために全予約制としておりますが、毎日コンスタントに2名の新患者さんが来ておられます。ご承知のように同愛記念病院には精神科の病棟がなく外来のみですが、外来だけとなるとどうしても精神科クリニックと競合してしまいます。ですから、当科としては同愛記念病院の精神科の独自性を前面に押し出す必要があります。

その1つは認知症の診断・治療です。治療についてはクリニックでもできますが、診断については頭部MRI検査などを含めてクリニックでは十分に対応できません。その部分を補う形で「病診連携」を進めていければと思います。近隣のクリニックから認知症の疑いのある患者さんを紹介していただき、当院で精査して診断をつけ、治療への道筋をつけてご紹介元にお帰りいただき、その後の治療はクリニックで継続していただくという形が理想的だろと思うています。今年からは脳血流検査もできるようになり、ますます診断精度が向上するものと期待しております。もちろん従来通り統合失調症やうつ病の患者さんもお受けしますが、前述のように専用の病棟がないので入院が必要な激しい病状の方は残念ながらお受けできないのが実情です。ご了承下さい。

もう1つは身体疾患で入院中の方の精神面でのケアです。身体病気があるとどうしても精神的に不調になる方がおられます。これらの方のケアも総合病院精神科の重要な役割に位置づけられています。この面も積極的に関与していきたいと考えております。

最後になりましたが、同愛記念病院の今後益々の発展のために自分なりに努力してまいりますので、なにとぞよろしくお申し込み申し上げます。



ご挨拶

神経科精神科部長 石東 嘉和

皮膚科よりこんにちは

皮膚科 部長 三井 浩

今回は皮膚科の紹介をさせていただきます。皮膚は人体の最外側に位置する臓器であり、成人で表面積は約1.6m²、重さは約9kgと人体の最大の臓器でもあります。外を取り巻く環境は熱や湿度など様々な因子が急激に変化することがあります。そのような外的ストレスから体内を防御し、また、体内の恒常性を維持するために、皮膚は単なるバリア構造を有するだけでなく、呼吸作用、分泌作用、知覚作用、体温調節作用など、多くの生理機能や免疫機能を有しています。これらのバランスに支障をきたすと、赤みが出たりブツブツが出たり痒みや痛みが生じたりなど、いろいろな症状が出てきます。皮膚は内臓の鑑ともいえますし、何か気になることがあればいつでも気軽にご相談下さい。

外来診療

当科では皮膚だけでなく、粘膜や爪、髪の毛についても診察しています。疾患はほとんど全ての皮膚疾患に対応しております。痒みを主体とする湿疹・アトピー性皮膚炎・蕁麻疹や、かさが強く出てくる乾癬・魚鱗癬、色素異常の白斑・老人性色素斑、内臓病変とも関係する中毒疹・血管炎、自己免疫疾患である水疱症・膠原病・円形脱毛症、細菌感染による伝染性膿痂疹（とびひ）・丹毒・蜂窩織炎、真菌（カビ）感染による足白癬（水虫）・爪白癬、ウイルス感染による疣贅（うつるイボ）・水痘・带状疱疹・単純ヘルペス、皮膚腫瘍である母斑



（ホクロ）・粉瘤・脂肪腫、皮膚悪性腫瘍であるボーエン（Bowen）病や基底細胞癌などが対象になります。特に当科では乾癬の治療に力を入れており、外用療法

だけでなく紫外線療法やエトレチナート・シクロスポリンなどの内服療法、そして近年注目を集めている新しい治療である生物学的製剤による治療も積極的に取り入れています。

当科は日本皮膚科学会の生物学的製剤承認施設であり、現在国内で承認を受けている3製剤、すなわち点滴薬であるレミケード、皮下注射薬であるヒュミラとステララによる全ての治療が選択可能です。レミケードは初めの2回は入院をさせていただいておりますが、レミケードの3回目以降、あるいは他の皮下注射薬であるヒュミラやステララについては、外来で治療を受けることができます。既存の治療でなかなか治らなかった乾癬、関節痛や膿疱を伴う乾癬に対して高い効果を認めております。

また、太田母斑や単純性血管腫など、特殊なレーザー治療が必要であったり、皮膚の悪性リンパ腫やメラノーマなどの場合は特化した病院にご紹介させていただいております。

入院治療

先に述べたとおり、レミケードの点滴加療は初めの2回については入院をさせていただいております。手術については比較的大きな皮膚腫瘍であったり、小さいものでも足底など部位によって入院治療での対応を行っております。蜂窩織炎・带状疱疹などの急性疾患は、随時入院受け入れ可能です。

さいごに

医学は日々進歩し続けていますが、一方で、医学を取り巻く環境は一段と厳しくなっています。当科では最新の医療情報を取り入れることを心がけ、個々の置かれた状況の中で最善の治療を選択していくよう努力していきたいと思っております。どうかよろしくお申し込み申し上げます。



同愛記念病院の理念 同愛記念病院は地域の要請をふまえて地区の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。

〈診療科目のご案内〉

循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、一般内科、神経科・精神科、アレルギー呼吸器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

〈病床数〉403床

当院では外来予約制です。

初診/（月～金）午前8時30分～正午（紹介状のある方は午後3時）
（土）午前8時30分～午前11時
再診/ご予約のない方：自動再来受付機にて午前8時～正午
次のご予約は診察後にお申し込みください。
休診日/日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

■交通案内

JR総武線 両国駅（西口）から徒歩7分
都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分
都営地下鉄大江戸線 両国駅から徒歩5分
●都営バス（錦糸町～大塚駅）石原1丁目停留所から徒歩3分



社会福祉法人 同愛記念病院財団

同愛記念病院

〒130-8587 東京都墨田区横綱2丁目1番11号
TEL. 03-3625-6381（代） FAX. 03-5608-3211

● 次回は2014年9月（第32号）発行予定になります。